



2023年度 入学試験要項

総合型選抜

同窓生推薦入試

本学の建学の精神と基本理念、各学部・学科の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の学習・教育環境を積極的に活用して、深い知識と幅広い領域の学修を志している意欲に燃えた学生を求めます。なお、各学部・学科が教育研究上の目的を達成するための基本とされる知識を有することが必要です。そのためには高等学校での基礎となる教科等の勉学を必要とし、積極的な学習姿勢を堅持していることが大切です。その上で、皆さんが本学での学生生活を十分理解し、明確な勉強目的と意思を持って入学されることを期待しています。

■ 建学の精神

「不言実行、あてになる人間」

■ 基本理念

中部大学は、「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■ 学部教育の目的

本学の教育上の使命に沿い、それぞれの専門分野の基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、そして自ら学び続ける能力を身につけた、専門職業人／有識社会人となる人間を世に送り出します。

■ 3つのポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）は本学WEBサイトで公表しています。

ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する基本的な方針

カリキュラム・ポリシー：教育の実施に関する基本的な方針

アドミッション・ポリシー：DP・CPに沿った学生募集の方針と入学者選抜の方法

各学科における3つのポリシー <https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/study/3policy/>

同窓生推薦入試

中部大学の同窓生推薦入試は本学の卒業生が本学への入学を強く希望する受験生に対し、責任をもって推薦することにより、これまでに修得した学業及び課外活動等の実績を基に評価し、自己の学修目的を認識し自己実現を図ろうとする意欲ある入学者を選抜する入学試験制度です。

入学試験要項について

中部大学入学試験の出願は、インターネット出願を利用します。この「入学試験要項」には、入学試験の概要と出願から入学手続までの事項を掲載しています。「入学試験要項」を熟読して内容を理解し、出願期間内に必要書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や不備がある場合、出願は無効となります。詳細は **[6]** インターネット出願を確認してください。また、入学試験等についてのお問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

個人情報の取扱いについて

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

1. 入学試験の実施（出願処理・試験の実施等）
2. 入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は、上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者（以下、「委託業者」という）において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対して、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。氏名・住所・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを漏洩した結果、思わぬ深刻な事態に巻き込まれることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないようにしてください。**中部大学では、お問い合わせがあっても志願者の住所・電話番号等は教えません。**また、試験当日、試験場及び駅周辺で合否連絡などを口実に、個人情報を記入させ、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせていることがありますが、中部大学とは一切関係がありません。十分注意してください。中部大学の合否発表は、インターネットを利用して行います。

不測の事態が発生した場合について

災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学WEBサイトまたは **「CUhub」^{シニユーハブ} マイページ**で周知しますので注意してください。

入試に関するお問い合わせ先

中部大学入学センター TEL (0120) 873-941

○午前9時～午後5時（平日のみ）

「CUhub」^{シニユーハブ} マイページの操作に関するお問い合わせ先

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

出願書類の不備等に関する連絡先

※出願書類に不備のあった方に本電話番号より連絡します。

中部大学入学願書受付センター TEL 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後5時（平日のみ）

試験当日のお問い合わせ先

中部大学代表電話 TEL (0568) 51-1111

目 次

■出願の前に

1. 募集人員	1
2. 入試日程および時間割	2
3. 出願資格	3
4. 選抜方法	3

■出願方法

5. 出願書類	4・5
6. インターネット出願	6・7
7. 出願上の注意	8
8. 受験上の特別な配慮申請について	9・10

■試験／合格発表／入学手続

9. 受験票	11
10. 試験当日の注意	12・13
11. 試験場	14・15
12. 合格発表	16
13. 入学手続	17

■学費／アドミッション・ポリシー

14. 2023年度入学者学費等	18
15. アドミッション・ポリシー	19～34
16. シークユーハブ CUhub マイページ	35・36
17. 入学検定料の返還	37

入学検定料返還申請書

追試験受験申請書

志願受付確認票

1

募集人員

学 部	学 科	募集人員
工 学 部	機 械 工 学 科 都 市 建 設 工 学 科 建 築 学 科 応 用 化 学 科 情 報 工 学 科 電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	若干名
経営情報学部	経 営 総 合 学 科	
国際関係学部	国 際 学 科	
人 文 学 部	日 本 語 日 本 文 化 学 科 英 語 英 米 文 化 学 科 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 心 理 学 科 歴 史 地 理 学 科	
応用生物学部	応 用 生 物 化 学 科 環 境 生 物 学 科 食 品 栄 養 学 科 〔食品栄養科学専攻〕 〔管理栄養科学専攻〕	

学 部	学 科	募集人員
生命健康科学部	生 命 医 科 学 科 保 健 看 護 学 科 理 学 療 法 学 科 作 業 療 法 学 科 臨 床 工 学 科 ス ポ ー ツ 保 健 医 療 学 科	若干名
現代教育学部	幼 児 教 育 学 科 現 代 教 育 学 科 〔現代教育専攻〕 〔中等教育国語数学専攻〕	
理 工 学 部	数 理 ・ 物 理 サ イ エ ン ス 学 科 A I ロ ボ テ ィ ク ス 学 科 宇 宙 航 空 学 科	

入試日程および時間割

出願期間（消印有効）	試 験 日	試 験 場	合格発表日
2022年11月 1 日(火)) 2022年11月 4 日(金) ※出願登録は10月14日(金)から可能です。	2022年11月19日(土)	本学	2022年12月 1 日(木)

注意 1. 出願期間最終日翌日の午前9時30分～午後3時に限り、中部大学入学センター窓口で出願書類を受理します。ただし、最終日翌日が土・日・祝日の場合は、翌平日午前9時30分～正午に受理します。なお、最終日翌日には新規の出願登録は受け付けません。

2. 出願・受験・合否・手続システム「CUhub」^{シ－ユーハブ}のアカウント作成は4月25日(月)午前9時から可能です。出願登録は10月14日(金)午前9時から11月4日(金)の午後5時の間に行ってください。出願書類は出願期間最終日消印有効とし受理します。なお、出願期間中は24時間登録が可能です。
3. 入学検定料納入期限は、出願登録を行った翌日の23時59分（最終日は当日の23時59分）までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
4. 追試験日：2022年12月3日（土）

感染症等により受験できない場合、対象となることがあります。詳細は **10** 試験当日の注意を参照してください。

時間割

学 科	時 間 割	試 験 場
機械工学科、建築学科、応用化学科 経営総合学科	集 合 時 間 9 : 40	本 学
コミュニケーション学科、歴史地理学科 環境生物科学科、食品栄養科学科食品栄養科学専攻 生命医科学科、理学療法学科、作業療法学科	面 接 10 : 00 ~ 11 : 50	
現代教育学科現代教育専攻、現代教育学科中等教育国語数学専攻 宇宙航空学科	小 論 文 12 : 50 ~ 13 : 50	
都市建設工学科、情報工学科 電気電子システム工学科 国際学科	集 合 時 間 12 : 30	
日本語日本文化学科、英語英米文化学科、心理学科 応用生物化学科、食品栄養科学科管理栄養科学専攻 保健看護学科、臨床工学科、スポーツ保健医療学科	小 論 文 12 : 50 ~ 13 : 50	
幼児教育学科 数理・物理サイエンス学科、AIロボティクス学科	面 接 14 : 10 ~ 16 : 00	

3

出願資格

次の1から3の条件をすべて満たし、本学への入学を強く希望する者

1. 本学の建学の精神・教育理念に賛同し、本学を専願とする者
2. 中部工業大学・中部大学（大学院、学部）、中部大学女子短期大学の卒業生が推薦する者
3. 高等学校を卒業した者または2023年3月31日までに卒業見込みの者で、全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上の者

4

選抜方法

書類審査（調査書）、小論文（30点）、面接（ポートフォリオの審査を含む）（30点）による総合評価

1. 出願確認票

本学WEBサイトから「インターネット出願ガイダンス」へ進み、^{シークユーハブ}「CUhub」マイページのアカウントを作成します。「STEP 3 出願登録」から画面の指示に従って入力後、「STEP 4 出願確認・受験票出力」からプリントアウトし、提出してください。

2. 写真データ

「STEP 2 基本情報の登録と確認」から画面の指示に従って本人写真データをアップロードしてください。出願時に登録したデータは**入学後の学生証写真としても使用します**ので、必ず**私服で撮影**してください(高等学校等の制服で撮影されたものは使用できません)。例年、「背景の写り込み」「トリミングの不備」「手振れによる不鮮明」など、受験票及び入学後の学生証の写真として利用できず、再アップロードをお願いする場合があります。写真店や写真データ取得機能付きの証明写真機の利用を推奨いたします。

3. 調査書

学校長が出願前3カ月以内に作成し、厳封されたものを提出してください。

学校関係者のみなさまへ

調査書の作成に際し、下記のとおりお願い申し上げます。

1. 厳封された調査書であること。
2. 出願期間初日から3カ月以内の発行日付があること。
3. 卒業（見込み）年月の記載があること（例：20XX年3月卒業見込み）。
4. 証明の欄に校長印・記載責任者印があるもの。

記載責任者氏名は、実際に調査書を作成するにあたって記載した学級担任等の氏名を記載してください。

5. 高等学校全期間の成績が記載されたもの。

卒業見込者は第3学年1学期または前期までの成績が記載されたもの（出願時に最新のもの）。

第3学年1学期または前期までの成績が出せない場合は履修中科目を記入してください。

- ① 3学期制：第2学年3学期までの成績と第3学年の履修科目（注）が記載されたもの。
- ② 2学期制：第2学年後期までの成績と第3学年の履修科目（注）が記載されたもの。

（注）第3学年の履修科目の記入例

第3学年の成績記入欄に「*」等の記号を付した上、備考欄に「第3学年1学期または前期までの成績が出せないため、第3学年の履修科目に「*」を記載済み」といった一文を記入してください（手書き可）。「*」等の記号を付けられない場合、第3学年の履修科目を記入した別紙を添付してください。

日本国内で2つ以上の高校に在籍していた場合

調査書に加え、前籍校の証明書を以下1～3いずれかの方法で提出してください。

1. 厳封された前籍校の調査書（または成績証明書※）を提出
2. 編入・転入した学校が保管する前籍校の成績証明書のコピーに、学校長の署名と公印で原本と相違ないことの証明を受け添付
3. 編入・転入前の成績を転記した場合は、調査書に「前籍校の在籍期間」「〇〇高校からの転記」と明記

※在籍期間が短く調査書や成績証明書が発行されない場合は、その旨を記した学校作成のメモと「在籍／在学証明書」を提出してください。

海外の高校から編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合

編入前に在籍していた高等学校や留学先の高等学校の発行する「成績証明書」を必ず調査書に添付してください（あわせて、「成績証明書」の日本語による翻訳も添付してください）。証明書がコピーの場合には、学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けてください（ただし、成績を読み替えた場合は、前籍校／留学先の成績証明書は不要です）。単位認定を受けない海外留学の場合も提出不要です。

4. ポートフォリオ

下記の書類一式を「ポートフォリオ」として扱います。

提出された書類等の変更は認めません。また、書類等は一切返却いたしませんので、控えをとっておいてください。

①ポートフォリオ書類一覧表

提出書類のもれがないか確認して、志願者確認欄に○印を記入してください。

②志望理由・入学後の目標（所定の様式）

本学の学部・学科（専攻）を志望した理由及び入学後は何をどのように学びたいかをアドミッション・ポリシーの求める人間像4に関連して記入してください。

③活動報告書（所定の様式）

アドミッション・ポリシーの求める人間像1～4に関連した活動実績や資格取得等がある場合に記入してください。また、根拠資料がある場合、書類のコピーを添付してください。

5. 推薦書

・本学所定の様式に、中部大学卒業生から推薦書を受領してください。

6. 中部大学卒業生（推薦者）の卒業証明書

（推薦者の方に依頼をしてください。尚、卒業証明書については本学教務支援課で発行しています。）

卒業証明書の発行については以下のサイトを参照してください。

<https://www.chubu.ac.jp/graduates/certificate/>

ポートフォリオ（①②③）・推薦書について

※4・5について 本学WEBサイト「入試情報 入学試験要項」より様式をダウンロードの上、作成してください。所定の様式（PDF ファイル）をダウンロードし、記入・提出してください。

中部大学 入試情報 <https://www.chubu.ac.jp/admissions/>

入学検定料

入学検定料 **35,000円** 納入期限 **2022年11月4日（金）**

※別途インターネット出願に関する手数料がかかります。

いったん納入された入学検定料及び出願書類は、返還いたしません。ただし事由によって返還する場合があります。詳細は [\[17\]](#) 入学検定料の返還を参照してください。

出願書類の確認について

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号**0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244**からの着信を見逃さないようにしてください。**確認・連絡ができない場合、受験できない**可能性があります。

6

インターネット出願

本学WEB サイトから「インターネット出願ガイダンス」に進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、^{シユーハブ}「CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。画面イメージは^{シユーハブ}16 CUhubマイページ で確認してください。

STEP 2 基本情報を入力

氏名、住所、連絡先、高等学校等の基本情報、写真データを登録します。

STEP 3 出願登録

入試方式、志願学科・専攻、志願者情報、アンケート等を登録し、「コンビニエンスストア」、「Pay-easy〈ペイジー〉対応銀行ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」いずれかの方法で入学検定料を支払います。

STEP 4 出願確認票の出力

出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒（市販の角2封筒）は各自で用意してください。

必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

インターネット出願のよくある質問

入学検定料納入後に入力ミスに気付いた等、よくある質問については、以下インターネット出願ガイダンス「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



出願登録画面の操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL(0120) 752-257

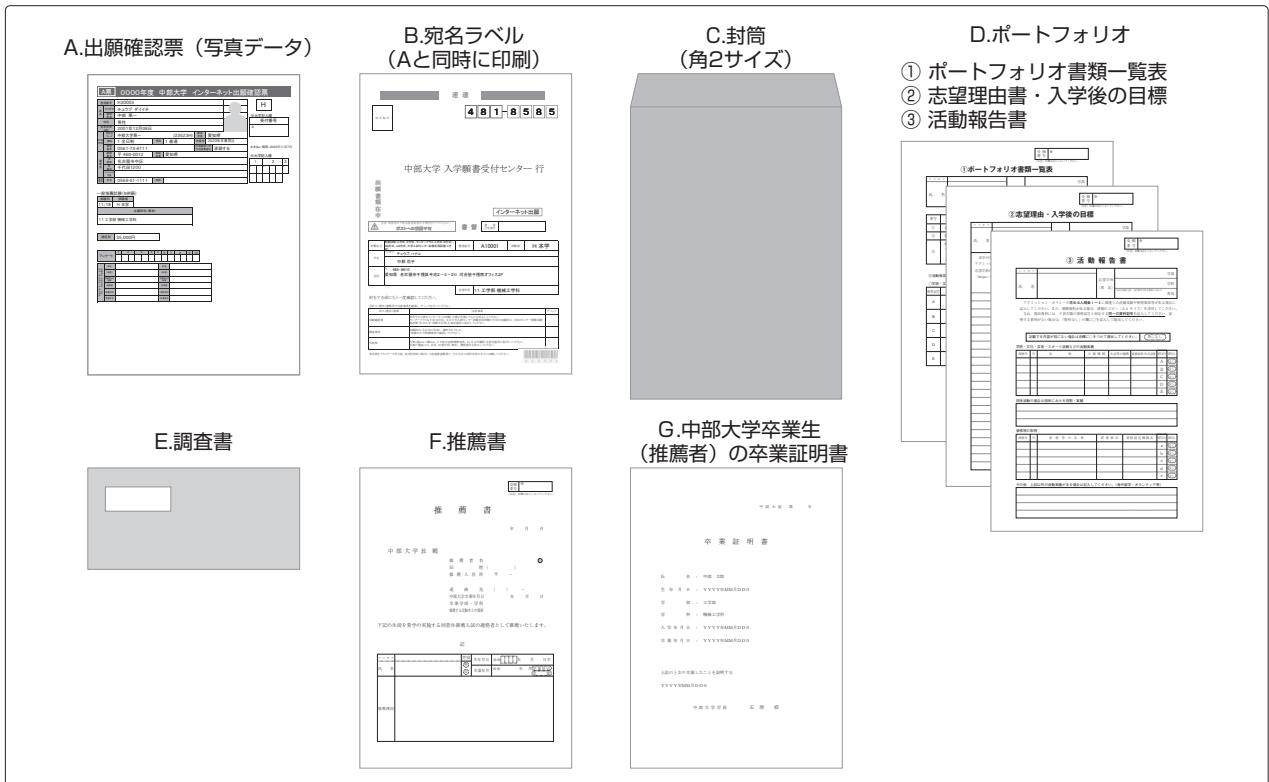
○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

1. 書類一覧

- A. 出願確認票（写真データ）
- B. 宛名ラベル・・・・・・・・・・ Aと同時に印刷。
- C. 封筒（角2サイズ）・・・・・・・・ 市販の角2封筒（各自でご用意ください）。
- D. ポートフォリオ（①・②・③）・・・ 本学所定の様式を使用。
- E. 調査書・・・・・・・・・・・・・・ 高等学校で発行。発行から3カ月以内のもの（厳封）。
- F. 推薦書・・・・・・・・・・・・・・ 本学所定の様式を使用。中部大学卒業生から推薦書を受領する。
- G. 中部大学卒業生（推薦者）の卒業証明書

※D・Fについて 本学WEBサイト「入試情報＞入学試験要項」より様式をダウンロードの上、作成してください。



※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

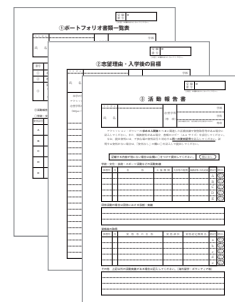
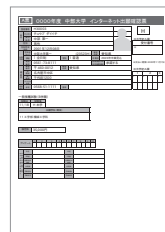
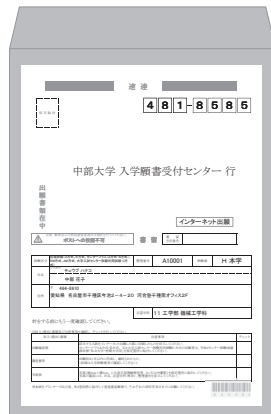
2. 書類を封入

「封筒（C）」に「宛名ラベル（B）」をのり付けし、「出願確認票（写真データ）（A）」と「ポートフォリオ（①・②・③）（D）」「調査書（E）」「推薦書（F）」「中部大学卒業生（推薦者）の卒業証明書（G）」を封入します。「出願確認票（A）」は折り曲げて封入してもかまいません。

封筒（C）＋宛名ラベル（B）

A.出願確認票（写真データ）

D.ポートフォリオ（①②③）



E.調査書

F.推薦書

G.中部大学卒業生（推薦者）の卒業証明書



3. 郵送

⑦ 出願上の注意をよく読んだ上で、各試験の出願期間内に、**中部大学入学願書受付センターまで郵送（速達・簡易書留）**してください。

必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

1. 入学検定料の他に、支払手数料が一律で990円かかります。
2. 入学検定料払込期限は、インターネット入力を行った翌日の23時59分（締切日は当日の23時59分）までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
3. 出願期間の最終日は、入学検定料払込みと郵送手続きの時間を考慮してインターネットによる出願登録を17時までとします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取扱時間を確認し、最終日当日の消印に間に合うように、余裕を持って支払い手続きを行ってください。
4. 締切時刻間際になりますとアクセスが集中し、登録できない状態になることもありますので時間に余裕を持ってお早めに出願登録を行ってください。
5. 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
6. 出願後の志望学科・専攻及び試験方式（試験日を含む）の変更は一切認めません。
7. いったん納入された入学検定料及び出願書類等は、返還しません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は [17] 入学検定料の返還を参照してください。
8. 出願書類に虚偽の記載があった場合、また、当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
9. 受験上の配慮を希望される場合は、各試験の出願に先立って、出願期間初日の6週間前までに、必ず中部大学入学センターへ相談してください。詳しくは、[8] 受験上の特別な配慮申請について をご確認ください。なお、申請前に中部大学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学されることをお勧めします。
10. 書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。
11. 本学では、志願者の出身学校及び推薦人へ志願者の承諾をもとに合否結果を送付します。合否結果は、各学校の進学指導上重要な情報と考え、出身学校へ情報提供を行っています。各出身学校長には、「進学指導への活用」に限定した取り扱いをお願いしています。なお、合否結果の通知・情報提供を承諾しない方は、インターネット出願登録画面で「承諾しない」を選択してください。通知承諾の可否は、合否判定に一切関係しません。

8

受験上の特別な配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、**出願期間初日の6週間前までに**事前申請を行ってください。複数の入学試験の受験を希望する場合は、初回の入学試験の申請期日までに申請してください。申請に間に合わない場合は、当該入試での配慮提供（支援）ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の可否や内容が可否に影響を与えることはありません。急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入学センターまでご連絡ください。修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。

申請の流れ

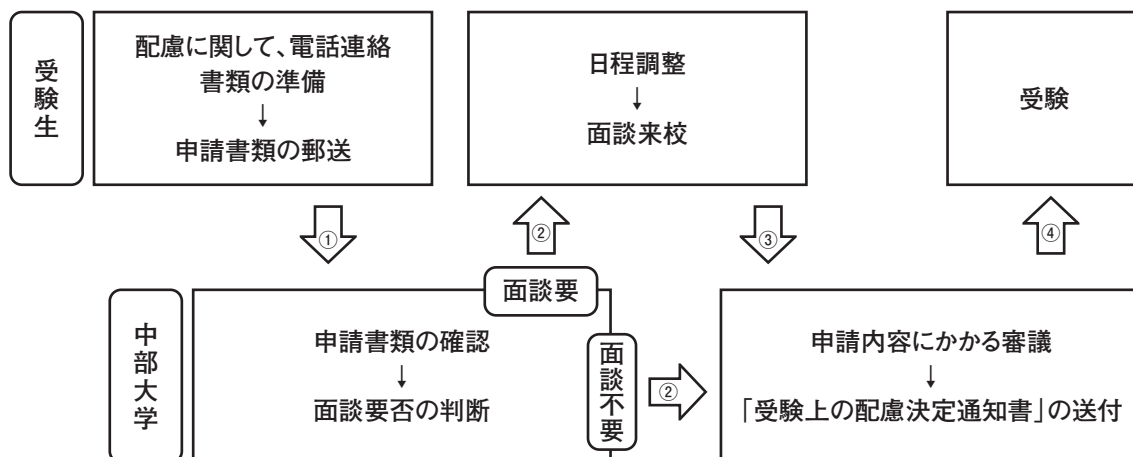
1. 電話による申し込み

- ・ **出願期間初日の6週間前までに**本学入学センターへお電話ください。
- ・ 必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

2. 申請書類の提出

下記①～④の書類を本学入学センターへ提出してください。

- ① 受験上の配慮申請書（本学WEBサイトからダウンロードし、必要事項を記入）
- ② 医師の診断書のコピー（現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの）
- ③ 大学入学共通テスト「受験上の配慮事項審査結果通知書」のコピー（該当者のみ）
- ④ 障害者手帳等の写し（該当者のみ）



3. 配慮事項決定通知について

- ・ 提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、受験上の配慮事項決定通知書を送付いたします。試験当日は決定通知書を持参してください。
- ・ 決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

お問い合わせ及び申請書類の送付先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

中部大学 入学センター「受験上の配慮申請担当」 宛

電話 0568-51-5541

※受付時間 平日：午前9時～午後5時

修学上の配慮に関するお問い合わせ窓口

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。

中部大学 学生サポートセンター

電話 0568-51-4478

※受付時間 平日：午前9時～午後5時

9

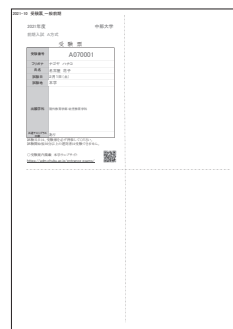
受 験 票

受験票は ^{シーユーハブ}「CUhub」マイページから「STEP 4 出願確認・受験票出力」に進み、ダウンロード・プリントアウトし、試験当日持参してください。
 受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。

発行開始日時 2022年11月11日（金）午前9時

必ずA4で印刷してください（モノクロ可）。

※図はイメージであり、実際のものと異なる場合があります。



受験票記載内容のお問い合わせについて

入試制度・志望学科（専攻）が出願時に入力したものと違う場合、至急中部大学入学センターに連絡してください。氏名の入力ミスは試験当日監督者に申し出てください。

※コンピュータ処理上表記できない文字は、常用漢字またはカタカナを使用します。受験には差し支えありません。

お問い合わせ先 中部大学入学センター事務局 入試事務課 TEL.0568-51-4715

受験票発行・操作に関するよくある質問

以下よりインターネット出願ガイダンスの「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



^{シーユーハブ}「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL(0120) 752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

1. 持参するもの	1. 受験票 プリントアウト（A4モノクロ可）したものを持参してください。紛失又は忘れた場合、「仮受験票交付所」に申し出て、仮受験票発行の手続きをしてください。試験室の入退室時には、受験票を携帯してください。詳細は [9] 受験票 を参照してください。 2. 筆記用具 HBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム ※下敷き等の使用は認めません。 3. 時計 時計以外の機能がついたものの使用は認めません。 4. 昼食 感染症拡大防止のため、昼食をとる場合は持参のうえ、自席でとってください。
2. 試験室の入退室	1. 試験場は8時30分に開場します。 2. 受験者は入試前日までに本学WEBサイトで試験室を確認してください。 3. 携帯電話等の使用は認めません。試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。 4. 机に示した受験番号を確認の上、集合時間までに指定の場所に着席してください。 5. 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以降の遅刻は欠席者とみなし受験できません。公共交通機関の事故等による場合は、TEL.0568-51-1111（中部大学代表番号）に連絡し指示を受けてください。 6. 試験時間中は、試験終了まで、退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。
3. 試験時間中の注意	1. 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、監督者の指示に従ってください。 2. 不正行為を行った者は、本学すべての試験を無効とします。 3. 解答用紙に、受験番号・氏名等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。
4. 受験上の配慮について	病気・ケガ等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、「[8] 受験上の特別な配慮申請について」を確認してください。

5. 受験できない者	1. 試験当日、37.5℃以上の発熱がある者 2. 学校保健安全法での出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験当日までに治癒していない者 3. 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者またはその恐れがあるとして、自宅待機等を指示された者 上記1～3のいずれかに該当する場合は、追試験（2022年12月3日実施予定）の対象となります。該当者は試験当日の9時30分までに入学センターまでご連絡後、以下の書類を郵送してください。詳細は個別にお知らせします。なお、追試験についての追試験はありません。 ①追試験受験申請書（本学WEBサイトからダウンロード） ②診断書や検査結果など、受験できない事実を確認できる書類 ※3に該当し、書類が提出できない場合は、「追試験受験申請書」内、「2.追試験申請事由」の「4.その他欄」に経緯を記入してください。
6. その他	1. 降雪等による交通機関への影響に十分注意し、遅刻しないようにしてください。 2. 災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学WEBサイトで周知しますので注意してください。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

試験場：中部大学 〒487-8501愛知県春日井市松本町1200 TEL.0568-51-1111（代表）

1. 試験室の詳細・集合場所は、入試の前日までに本学WEBサイトでお知らせします。
2. 受験生・付添者は、キャンパスプラザを控室として利用できます。

本学までの交通機関

1. JR中央本線「神領」駅下車

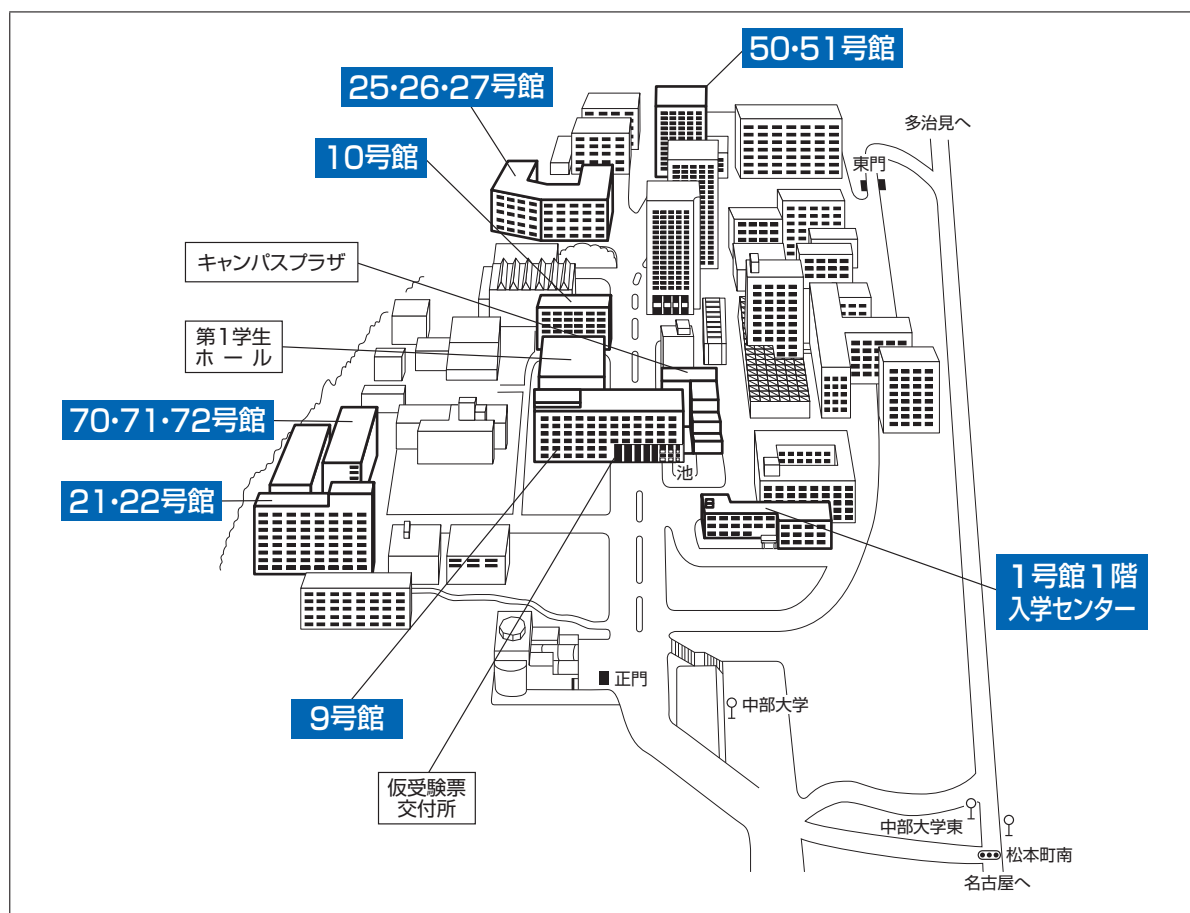
- ① 普通列車に乗車してください。快速列車は停車しないので注意してください。
- ② 神領駅北口から名鉄バス中部大学線（片道210円）を利用してください。所要時間は約10分です。

2. JR中央本線「高蔵寺」駅下車

高蔵寺駅から名鉄バス「中部大学」行をご利用ください。発着数が少ないため、ご利用の際は時刻表を十分確認してください。

3. 自家用車

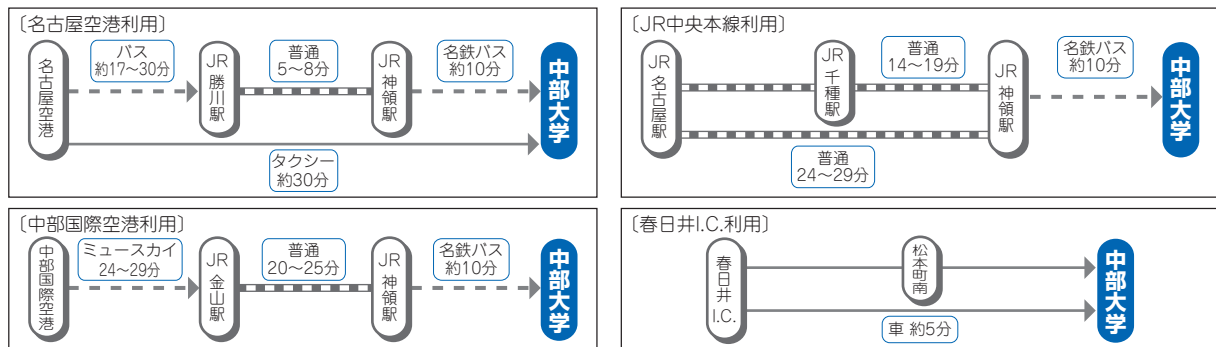
大学構内の駐車場が利用できますので正門から入場してください（試験当日大学構内は一方通行となります）。例年、路上駐車や近隣店舗への駐車が多く、周辺地域の方々から苦情が寄せられます。近隣の皆様への多大な迷惑となりますので、マナーを守ってご来校いただきますようお願い申し上げます。



試験場の下見について

試験場の下見は試験前日（11月18日）の午後に行ってください。なお、試験室には入れません。建物の外観確認に留めてください。

主要交通所要時間



合否発表日の午前11時から ^{シユールハブ}「CUhub」で合否結果を発表します。^{シユールハブ}「CUhub」マイページにログインし、「合否結果」から確認してください。

合否発表日時

2022年12月1日 午前11時

注意事項

1. 電話やメール等による合否のお問い合わせには一切応じません。
2. **合否に関する通知書の送付は行いません**。合格通知書が必要な方は ^{シユールハブ}「CUhub」マイページより「**入学手続**」に進み、ダウンロードしてください。
3. サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
4. ^{シユールハブ}「CUhub」合否結果の「誤操作」「見間違い」等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

最大で4年間の授業料等を全額免除「特別奨学生入試」- 特別奨学生入試への出願について

本学のポートフォリオ入試、同窓生推薦入試、学校推薦型選抜（指定校推薦入試・併設校推薦入試・一般推薦入試・特技推薦入試）において、すでに合格している者でも、特別奨学生として入学を希望する場合は、**同一学科（専攻）に限り特別奨学生入試に出願することができます**（検定料は別途必要です）。特別奨学生として合格した場合、期日までに納められた入学料（入学後）・学費等（申請後）を返還します。詳細は特別奨学生入試の入学試験要項を確認してください。

入学前ガイダンスの開催について

中部大学では、ポートフォリオ入試、同窓生推薦入試、学校推薦型選抜（指定校推薦入試・併設校推薦入試・一般推薦入試・特技推薦入試）で合格し入学を予定されている方を対象に「入学前ガイダンス」を開催します。このガイダンスは、高校生から大学生へスムーズに移行できるよう支援するためのものです。

入学前ガイダンス

日程 2022年12月11日(日)（予定）

場所 中部大学春日井キャンパス

※詳細については、合格者に別途お知らせします。

1. 入学手続は^{シ－ユーハブ}「CUhub」の「[入学手続](#)」から行います。入学手続に関する書類等の送付はありませんので、各手続の期限にご注意ください。詳細は、本学WEBサイトに公開する[入学手続要項](#)で確認してください。
2. 入学手続期限は**締切日必着**です。期限を過ぎたものについては一切受理しません。**期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います。**
3. いったん納入された入学料および入学手続書類等は、返還しません。
4. [入学手続要項](#)の確認不足等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

入学手続期限（締切日必着）

入学料の納入期限	学費等の納入期限	書類の提出期限
2022年12月15日(木)まで	2023年1月10日(火)まで	2023年3月6日(月)まで

国の教育ローンについて

入学料、学費、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。詳しくは、「国の教育ローン」WEBサイトをご確認ください。

学費等は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。なお、保険料は改定される場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

(単位：円)

	工学部		経営情報学部		国際関係学部 人文学部		応用生物学部		現代教育学部		理工学部	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	465,000	465,000	365,000	365,000	385,000	385,000	465,000	465,000	360,000	360,000	465,000	465,000
施設設備費	130,000	130,000	110,000	110,000	110,000	110,000	130,000	130,000	110,000	110,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害 傷害保険料 ※1	3,300		3,300		3,300		3,300		3,300		3,300	
学生教育研究賠償 責任保険料 ※1									1,360			
計	1,003,300	670,000	883,300	550,000	903,300	570,000	1,003,300	670,000	879,660	545,000	1,003,300	670,000
1 年次	1,673,300		1,433,300		1,473,300		1,673,300		1,424,660		1,673,300	
2 年次	1,360,000		1,120,000		1,160,000		1,360,000		1,150,000		1,360,000	
3 年次	1,380,000		1,140,000		1,180,000		1,380,000 1,440,000 ※2		1,170,000		1,380,000	
4 年次	1,400,000		1,160,000		1,200,000		1,400,000		1,190,000		1,400,000	

※1 委託徴収会費等 ※2 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

(単位：円)

	生命健康科学部											
	生命医科学科		保健看護学科		理学療法学科		作業療法学科		臨床工学科		スポーツ保健医療学科	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	495,000	495,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	465,000	465,000	440,000	440,000
施設設備費	175,000	175,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
修学諸費	40,000	40,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害 傷害保険料 ※1	3,370		3,370		3,300		3,370		3,370		3,300	
医学生教育研究賠償 責任保険料 ※1	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000			
計	1,120,370	785,000	1,045,370	710,000	1,045,300	710,000	1,045,370	710,000	1,020,370	685,000	978,300	645,000
1 年次	1,905,370		1,755,370		1,755,300		1,755,370		1,705,370		1,623,300	
2 年次	1,710,000		1,560,000		1,510,000		1,510,000		1,460,000		1,410,000	
3 年次	1,730,000		1,580,000		1,530,000		1,530,000		1,480,000		1,430,000	
4 年次	1,750,000		1,600,000		1,600,000		1,600,000		1,550,000		1,450,000	

※1 委託徴収会費等

入学料・後援会費・学生教育研究災害傷害保険料・医学生教育研究賠償責任保険料・学生教育研究賠償責任保険料は入学時のみ。

授業料・施設設備費…2年目以降年額各10,000円増額

教育充実費……………2年目以降同額

修学諸費……………2年目以降、生命医科学科は年額200,000円、保健看護学科は年額150,000円、理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科は年額100,000円（ただし4年目150,000円）、スポーツ保健医療学科は年額100,000円、現代教育学部は年額40,000円
3年目のみ、食品栄養科学科 管理栄養科学専攻は、年額60,000円

工学部 機械工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 機械工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、機械工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・ 数学に関して、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数、ベクトル、微分法・積分法を利活用できること。
- ・ 物理に関して、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動を利活用できること。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・ 上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・ 上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・ 上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

工学部 都市建設工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 都市建設工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、地域のデザインを通して地球環境の保全、人間社会の持続可能な発展、災害対策に関わる領域で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・ 数学、物理、英語、国語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・ 数学では、特に三角関数、指数・対数関数、微分、積分など。
- ・ 物理では、特に力のつりあい、物体の運動とエネルギーなど。
- ・ 英語では、文法、読解、会話など。
- ・ 国語では、文章作成、文章読解など。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・ 上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

工学部 建築学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 建築学とともに人間・社会・芸術に強い関心と高い学習意欲をもち、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科、国語、英語の教科書を再度復習し総合力を高めること。
- ・社会、芸術、保健体育、家庭、情報各教科の学習意義を改めて理解するとともに、幅広く興味・関心を持つ習慣を身につけること。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

工学部 応用化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 化学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、化学計測、無機・有機およびナノ複合材料、エネルギー、環境などの領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、数学、英語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・化学では特に原子の構造、化学結合、物質の性質、化学反応式、濃度、酸塩基、酸化還元など。
- ・数学では特に指数・対数関数、微分、積分など。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

工学部 情報工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) コンピュータの仕組みや応用に強い関心と高い学習意欲をもち、高度情報化社会において情報科学、ソフトウェア、情報通信、ハードウェアに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語の教科書を復習し理解を深めること。
- ・数学では三角関数、指数・対数関数、微分、積分、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では電気と磁気、物体の運動とエネルギーなど。
- ・日本語（読み書き）がきちんとできること。
- ・ITパスポート試験に挑戦してみることが望ましい。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

工学部 電気電子システム工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」等の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 電気電子システム工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、通信・システムに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学については、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分、複素数、ベクトル等を理解して利用できることが望ましい。
- ・理科のうち、特に物理の力学（物体の運動、力のつり合い、運動量、単振動、エネルギーなど）および電磁気（静電気力、電界、電気力線、電位、コンデンサ、静電エネルギー、電流、磁場、電磁力、電磁誘導など）等を理解して利用できるこ

とが望ましい。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

経営情報学部 経営総合学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 経営学と情報学を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 企業経営と情報に強い関心と高い学習意欲をもち、経営者や会社のキーパーソンとして活躍しようとする意欲がある。
または、情報システムの知識・技術に関わる領域や会計専門職や会計の知識に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

・高等学校の授業科目のうち、特に英語、数学、国語、地歴・公民の学習内容を十分に習得していることが求められる。これらは全て大学における学修の基礎となるものである。

また、経営・経済分野については、新聞やニュースに関心を持ち、知識だけでなく、自分の意見を言えるようにしておくことが望ましい。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

国際関係学部 国際学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 国際関係や他文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 世界各国・地域の人の生活や社会制度、英語や中国語などの外国語、国際関係に強い関心と世界の動きを多面的に理解する学習意欲をもち、積極的に他者とコミュニケーションを図り、多文化共生社会や国際政治・国際経済・国際協力に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語・社会・英語についての基礎学力を有し、政治経済や倫理社会などにも意欲をもって取り組んでおくことが望ましい。
- ・外国語の運用能力（実用英語技能検定準2級程度、中国語検定4級、漢語水平考試（HSK）3級、ハングル検定4級相当など）を備え、さらに高めることに意欲的であることが望ましい。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

人文学部 日本語日本文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、日本の言語や文化に関する深い知識と理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・日本語・日本文学について学ぶための基礎学力として、高等学校における「国語総合」「国語表現」「現代文」の学習が強く望まれる。
- ・日本文化について学ぶための基礎学力として、高等学校における「日本史」「世界史」の学習が強く望まれる。
- ・知識の応用力・論理的思考力を身につけるために、読書を習慣化することが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

人文学部 英語英米文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、本格的な英語運用能力と異文化理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校までの英語学習をしっかりと理解していることが望まれる。
- ・英語だけでなく、他教科においても、幅広い基礎学力を有していることが望まれる。
- ・英語を積極的に使おうとする意欲があることが望まれる。
- ・英語圏の文化に対する強い関心があることが望まれる。
- ・円滑で、より豊かな対人コミュニケーション能力を身につけようという意欲や向上心があることが望まれる。
- ・大学における英語の発展的学習の基礎となる英語運用能力（実用英語技能検定（英検）準2級以上あるいは同等の英語力）を備えていることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

人文学部 コミュニケーション学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、高度なコミュニケーション力と情報文化デザイン力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・メディアの社会への影響を考えるために必要となる幅広い基礎学力を身につけておくことが望まれる。
- ・筋道の立った文章を書くための文章力を身につけておくことが望まれる。
- ・他者に自分の考えを表明できるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。
- ・社会の中の出来事に関心をもつ姿勢を身につけておくことが望まれる。
- ・インターネット上の情報の真偽について考える習慣を身につけておくことが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

人文学部 心理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 人の「こころ」をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 人の「こころ」をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、「こころ」に関する問題を論理的に解明し、表現する力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・調査や実験等で得られたデータを統計的に分析するための数学的能力、論理的能力を身につけていることが望まれる。
- ・結果を読み取り、理解し、筋道たてて記述するための国語力を身につけていることが望まれる。
- ・海外の文献を読むための英語力を身につけていることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

人文学部 歴史地理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 歴史や地理をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 歴史や地理をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、歴史学・地理学の専門知識と研究方法を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、英語、社会の教科書を復習し、内容の理解を深めておくことが望まれる。
- ・国語では、語彙を増やし、古典・漢文も復習することが望まれる。
- ・英語では、基本的な文法を復習・習得し、単語・熟語の語彙を増やしておくことが望まれる。
- ・社会では、特に地理あるいは歴史の教科書の基本知識を十分に理解しておくことが必要である。
- ・地理あるいは歴史について自分の興味ある内容を積極的に説明できることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

応用生物学部 応用生物化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジーに強い関心と高い学習意欲をもち、医療や医薬品・食品などのバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、数学の教科書を再度復習し、理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・数学では特に指数・対数関数、確率統計。
- ・国語の学習によって、筋道の通った文章が書けることが望まれる。

一般選抜 (前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試)

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜 (特別奨学生入試)

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜 (一般推薦入試)

・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

応用生物学部 環境生物科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2 (知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した「環境生物学（生態系における個体の生物学）」に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3 (思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4 (主体性・多様性・協働性)

(6) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した環境生物学に強い関心と高い学習意欲をもち、環境評価や環境問題の解決に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学について、教科書レベルの基礎知識を習得しておく必要がある。
- ・環境、生物に関連する自然科学分野の文章読解力、作文能力を身につけておく必要がある。
- ・PCを用いたレポート作成法を取得しておく必要がある。

一般選抜 (前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試)

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜 (特別奨学生入試)

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜 (一般推薦入試)

・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 「食」や「栄養」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 「食」や「栄養」に強い関心と高い学習意欲をもち、食品科学と栄養科学に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、英語の教科書を再度復習し理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・生物では特に細胞と人体組織、生体構成成分、代謝、遺伝子とDNA、遺伝子発現。
- ・国語では論理的な文章を書けるようにすることが望まれる。
- ・英語についても基礎を復習し理解を深める。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 「食」と「健康」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 「食」と「健康」に強い関心と高い学習意欲をもち、国家資格としての管理栄養士に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・管理栄養士の職能について十分理解しておくことが必要。
- ・化学基礎、生物基礎の教科書を再度復習し理解を深めておくことが必要。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 生命医科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 病気の予防や健康の維持増進の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 病気の予防や健康の維持増進に対して強い関心と病気や健康不安の仕組みに学習意欲をもち、臨床検査、または薬物・資材・機器・医療技術の開発・研究および販売等を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物、化学、物理の教科書を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・生物では特に細胞、代謝、遺伝子、体内環境などの理解が必要となる。
- ・化学では溶液の濃度、物理では原子、力学、電磁気などの理解が特に必要となる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 保健看護学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康に強い関心と高い学習意欲をもち、看護の専門職として他職種と協働し社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・人体のしくみを理解するうえで必要な生物・化学の基礎を身につけることが望まれる。
- ・人の健康と生活に関わる保健・家庭等の科目の内容の理解も必要となる。
- ・筋道の立った文章表現ができる国語力の獲得が望まれる。
- ・看護実践をするうえで必要となる数学の基礎の習得も望まれる。
- ・対象・場面に即した言葉遣いと基本的な礼儀・マナーの習得が望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 理学療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 医学・生命科学、理学療法を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 医学・生命科学、理学療法に強い関心と高い学習意欲をもち、理学療法に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の教育内容（国語、生物・化学・物理の基礎、数学の基礎など）を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身に付けることが望まれる。
- ・自分の考えを伝えるための表現力・他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 作業療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションを学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションに強い関心と高い学習意欲をもち、作業療法士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、生物、数学・物理、家庭、保健体育の以下の内容を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・国語では、論理的な筋道の立った文章が書けることが必要となる。
- ・生物では、人のからだの仕組みや構造について学んでいることが必要となる。
- ・数学・物理では、三角関数や物体の運動とエネルギーを学んでいることが必要である。
- ・家庭では、自立した生活者に必要な衣食住や消費生活・環境に関する知識・技能、親の役割と子育て支援に関する知識・技能、高齢者の尊厳と介護、生活支援に関する知識・技能を理解していることが必要である。
- ・保健体育では、健康の保持増進や疾病予防に必要な知識・技能を理解していることが必要となる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 臨床工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学と医学が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 工学と医学が重なる領域に強い関心と高い学習意欲をもち、臨床工学技士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高校で勉強する数学、物理（物理基礎）、化学（化学基礎）、生物（生物基礎）をきちんと理解していることが望まれる。
- ・臨床工学技士の役割や職能などについて自ら調べ、理解することが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) スポーツや保健医療（医学）が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) スポーツや保健医療（医学）に強い関心と高い学習意欲をもち、スポーツ医学を国民の生活の質（QOL）の向上に役立てる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物（生物基礎）、数学、国語、保健分野の知識、さらに、主語と述語の関係が明確な筋道の通った文章が書けることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

現代教育学部 幼児教育学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 乳幼児の保育・教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 乳幼児の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・コミュニケーション力や論理的な思考力、表現力を発揮するために、国語の基礎的内容を習得していることが望まれる。
・子どもの表現活動を学ぶために、音楽・美術・保健体育に関する基礎的な知識や技能を有していることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 児童生徒の教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- （6）児童生徒の教育に強い関心と高い学習意欲をもち、小学校教諭・中学校理科教諭・特別支援学校教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の全教科（実技教科を含む）の内容を十分理解できていることが大切である。教科書の内容を十分に復習することが望まれる。また、日本語検定3級、数学検定3級、実用英語技能検定準2級程度の学力を有することが望まれる。実際に受検し挑戦することが望ましい。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の（3）、（4）を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の（1）、（3）～（6）を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の（1）、（2）、（5）、（6）を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- （1）本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- （2）高等学校の教育内容を幅広く学修している。
（3）中学校教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- （4）基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
（5）自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- （6）中学校教育に強い関心と高い学習意欲をもち、中学校国語教諭および中学校数学教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語志望者は、高校古典（古文・漢文）の総復習と、国語教科書「読書案内」に紹介の本を読むこと。数学志望者は、高校数学（数I～III、AB）の総復習。また、日本語検定2級、数学検定2級・準1級合格を目指した学習を進めることが望まれる。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の（3）、（4）を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の（1）、（3）～（6）を重視し、書類審査、ポートフォリオ審査、学力検査、小論文、講義・実習・演習、面接等によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の（1）、（2）、（5）、（6）を重視し、書類審査、小論文、面接等によって選抜します。

理工学部 数理・物理サイエンス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- （1）本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- （2）高等学校の教育内容を幅広く学修している。
（3）理学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- （4）基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
（5）自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 数学および物理学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、数学およびデータサイエンス等の応用分野を含めた数理学、物理学および物質科学や宇宙・地球科学等の応用分野を含めた物理学に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、個別筆記試験、大学入学共通テストの点数によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、ポートフォリオ審査、講義・実習・演習および面接によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文および面接によって選抜します。

理工学部 AIロボティクス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ロボット理工学とともに、ものづくりに強い関心と高い学習意欲をもち、機械、電気、電子、情報工学などに関わるロボット製作や工学デザイン領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、個別筆記試験、大学入学共通テストの点数によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、ポートフォリオ審査、講義・実習・演習および面接によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文および面接によって選抜します。

理工学部 宇宙航空学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3（思考力・判断力・表現力）

- （4）基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- （5）自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4（主体性・多様性・協働性）

- （6）宇宙航空学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、制御理論や流体力学、材料力学などに関わる航空機製造や宇宙に関係する領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では数と式、統計・データの分析、二次関数、三角関数、微分・積分、指数・対数、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では物体の運動とエネルギー、力の釣り合い、気体の状態変化、電気・磁気など。

一般選抜（前期入試、共通テスト利用方式、共通テストプラス方式、後期入試）

- ・上記の(3)、(4)を重視し、個別筆記試験、大学入学共通テストの点数によって選抜します。

総合型選抜（特別奨学生入試）

- ・上記の(1)、(3)～(6)を重視し、ポートフォリオ審査、講義・実習・演習および面接によって選抜します。

学校推薦型選抜（一般推薦入試）

- ・上記の(1)、(2)、(5)、(6)を重視し、書類審査、小論文および面接によって選抜します。

アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。

URL : <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>

ガイダンスページ



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。

- ① メールアドレスを入力。
- ② 1～2分後に届く確認メールに記載のURLをクリック。
- ③ パスワードを設定します。
- ④ 再度マイページTOP画面に戻り、作成したアカウント（メールアドレス・パスワード）でログインしてください。

※アカウント情報（メールアドレス・パスワード）を忘れないようにしてください。

マイページTOP

メールアドレス登録（初回のみ）

パスワード登録（初回のみ）

マイページでは、出願、受験票の発行、合否結果の閲覧、入学手続きを行うことができます。以下**STEP 1～4**の手順に従って手続きを進めてください。

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

住所・氏名・出身高中学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願受付期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。アップロードする前にSTEP 1で写真に必要な要件を確認してください。

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。
出願登録は2022年10月14日午前9時から行うことができます。出願期間は **2** 入試日程に掲載しています。内容をよく確認した上で登録を進めてください。

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、出願書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

合否結果を確認することができます。

合格通知書、入学料・授業料等の振込用紙の出力ができます。入学手続書類もこちらから作成します。

「CUhub」マイページTOP

CUhUB

中国大学の中心へ
出願・受験・入学・手続
ポータルサイト

Menu

マイページトップ

マイページメニュー

STEP1

ガイダンス閲覧・確認

出願ガイダンスを確認してください。



ガイダンス閲覧・確認
出願手続きの流れやPC・モバイルの推奨環境に関するこ
とを確認できます。

ガイダンス
確認に進む

STEP2

基本情報の登録と確認

個人情報登録することができます。
個人情報、証明写真を画面の表示に従って登録して下さい。
※証明写真は、インターネット出願後は変更することができません。



個人情報の登録・編集と確認
出願者の個人情報の登録・編集、確認ができます。

登録・確認
に進む



証明写真の登録・編集と確認
証明写真のアップロード、再アップロードをすることがで
きます。

登録・確認
に進む

STEP3

出願登録

出願登録をします。



出願登録
画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容
を登録・確認してください。

出願登録に
進む

STEP4

出願確認・受験票出力

出願登録した情報を確認できます。
受験票を出力できます。



出願確認・受験票出力
出願登録した情報を確認できます。
受験票を出力できます。

出願確認・
受験票出力
する



合否結果
受験済みの合否結果をご案内
いたします。



入学手続
合格者は必要書類のダウンロ
ード等を行うことができま
す。



メールアドレス変更
当サイトログイン用のメール
アドレスを変更できます。



パスワード変更
当サイトログイン用のパ
スワードを変更できます。

下記「1. 入学検定料返還請求事由」に該当し、かつ下記「4. 返還請求方法」に則り請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料の返還には、請求締切以後、1～2ヵ月程度かかります。

1. 入学検定料返還請求事由

1. 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
2. 出願資格を欠く者が出願した場合
3. 出願締切日後に出願した場合
4. 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

2. 返還請求受付締切日

下記締切日までに申請してください【必着】。

2022年11月8日(火)

3. 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として、整理番号1件につき500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

4. 返還請求方法（郵送に限ります）

下記（1）を封入し、宛先左側に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、郵送してください。

宛先：〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学入学センター事務部 入試事務課

- （1）入学検定料返還申請書（次ページ本学指定用紙）
黒ボールペンで必要事項を記入してください。

5. 返還手続上の注意

1. 請求締切日までに必要書類が提出出来ない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、請求を受理しません。なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
2. 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人または保護者としてください。

入学検定料返還申請書

学校法人中部大学理事長 殿

20 年 月 日

私は、入学検定料の返還を申請いたします。

1. 志願者情報

フリガナ				性 別 (○をつける)	男 ・ 女
氏 名					
整理番号	出願確認票記載の「整理番号」を記入してください。				
生年月日	西暦	年	月	日	
住 所	(〒 -)				
	都道府県		市 郡		
電話番号	〈自宅〉 - -		〈携帯〉 - -		

2. 返還請求事由

返還請求事由	次の1～4のうち、該当する番号に○をつけてください。
	1.入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
	2.出願資格を欠くものが出願した場合
	3.出願締切日後に出願した場合
	4.納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
	5.その他

3. 入学検定料返還先

返還金 振込先	金融機関名	銀行			支店名	支店			支店名 (カタカナ)	
	金融機関 コード				支店コード					
	預金種別	普通			口座番号					
	フリガナ									志願者との続柄
	口座名義人									

※口座名義は、志願者本人または父母としてください。

※信託銀行を除く銀行を指定してください。ゆうちょ銀行も指定できます。

※ゆうちょ銀行を指定する場合は、他行からの振込用の支店及び口座番号を記入してください。

4. 郵送先

〒487-8501 春日井市松本町1200

中部大学 入学センター事務部 入試事務課

TEL.0568-51-4715

追試験受験申請書

20 年 月 日

中部大学長 殿

私は、下記の理由により受験できなかったため、追試験を申請いたします。

1. 志願者情報

受験番号		試験日	
入試種別			
フリガナ 氏 名			
生年月日	西暦	年	月 日
住 所	(〒 -)		
	都道府県		市郡
電話番号	(自宅)	(携帯)	
	- -	- -	

2. 追試験申請事由

申請事由	次の1～3のうち、該当する番号に○をつけてください。
	1. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していないため
	2. 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされたため
	3. 発熱・咳等の症状により、当日受験を見送ったため
	4. その他 ()

※証明書類の写しを必ず添付してください。

証明書類	1. 診断書（病名、加療期間を記載のこと）
	2. その他 ()

諸事情により出願確認票が印刷できない方は以下の手順で進めてください。

1. パソコン画面で出願確認票を表示させ、下の志願受付確認票(送付用)に「登録日」「整理番号」「氏名(漢字・カナ)」「生年月日」「住所」を転記する(このページを切り取ってご使用ください)。
2. 入学検定料について、コンビニエンスストア・ネットバンキング(ペイジー含む)で支払う場合は、必要となる番号を正確にメモし、利用してください。
3. 「出願手続」を参照して出願書類を準備し、角2サイズの封筒に下記住所を手書きした上で志願受付確認票(送付用)と出願書類(調査書等)を同封して郵送(速達・簡易書留)してください。

出願書類宛先

〒481-8585
中部大学 入学願書受付センター

出願確認票が印刷できない方は、以下の記入欄に必要事項を記入してください。

記入後、このページを切り離し、出願書類一式とともに角2サイズの封筒で上記の出願書類宛先へ
郵送(速達・簡易書留)してください。

登 録 日	年 月 日
整 理 番 号	
氏 名 (漢 字)	
氏 名 (カ ナ)	
生 年 月 日	年 月 日
住 所	□□□□ - □□□□



中部大学

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地 ☎ 0120-873941
ホームページ <https://www.chubu.ac.jp/> E-mail koho@office.chubu.ac.jp

中部大学は、よりよい環境対策をめざし、エコキャンパスとして、大学全体で取り組んでいます。